

よろず支援拠点について

令和3年8月
経済産業省
中小企業庁

よろず支援拠点の概要

- こういった課題に対応するため、国が予算措置を行い、委託事業として、2014年より、①ワンストップ機能、②コーディネート機能、③高度な経営アドバイス（無償支援）を実施する、**無料のワンストップ相談窓口「よろず支援拠点」を各都道府県に設置**。
- 中小企業診断士、社会保険労務士、ITコーディネーター等の専門家が、各拠点に従事し、様々な経営課題に対応している。

事業者

売上げを伸ばしたい
販路を拡大したい

毎月の資金繰りが厳しい
採算の悪い事業をやめたい

経営上の悩みについて、
どこに相談したら良いか
わからない



自ら足を運ぶことで
無料で何度でも



よろず支援拠点

①ワンストップ機能

事業者が抱える課題を整理した上で、的確な支援機関等を紹介するとともに、支援施策の活用促進や制度改善に関する要望を汲み取る。

②コーディネート機能

商工会・商工会議所、地域金融機関等の支援機関とのハブとして、総合的な課題解決に取り組む。

③高度な経営アドバイス

中小企業診断士をはじめとする各分野の専門家が企業経営の中身まで一歩踏み込んだ支援を行う。

【参考1】よろず支援拠点の相談対応（事例）

売上拡大対応

サービス業（宮城県・学習塾）

- **相談内容**
 - 知名度や営業力で勝る大手学習塾との競争が激化。生徒数が年々減少。
- **提案内容**
 - 当塾の強みを整理。相談者の指導への想いを記載したチラシの作成を支援。
 - 更に、ウェブサイトの作成や、ブログ・Twitterの開設、定期的な情報発信も提言。
- **成果**
 - コロナ禍にもかかわらず、生徒数が相談前から230%アップ。

生産性向上対応

小売業（高知県・食品会社）

- **相談内容**
 - 受注・製造指示業務を手作業で行っていたため、ミスが頻発。製造・納品といった後工程にも影響を及ぼしていた。
- **提案内容**
 - 製造指示業務の工程にITツールを導入することで、時間短縮と効率化を図ることを提案。
 - 一連の行程についてフリーソフトを活用し、RPA化を実現。
- **成果**
 - 手入力の手間やミスに伴う対応時間が、月約20時間削減。